

令和4年度

# 町政執行方針



多文化共生のまち、しらおい

◇ 北海道 白老町 ◇

令和4年3月

白 老 町

## 町政執行方針

- はじめに 1
- 町政に臨む基本姿勢 2
- 主な施策について 4
- 予算編成 8
- むすびに 12

## □ はじめに

令和4年白老町議会定例会 3月会議の再開にあたり、4年度の町政執行に臨む私の所信と予算編成の概要について、申し上げます。

私は、平成23年11月に町長に就任してからこれまで、町民の皆様や関係団体の温かいご支援並びに議員の皆様のご指導のもと、「みんなの心つながる、笑顔と安心のまち」そして第6次総合計画に定める将来像「共に築く希望の未来 しあわせ感じる元気まち」を基本姿勢として、多くの課題解決に全力で取り組んでまいりました。

4年度においても、目の前の課題のみに捉われることなく町民の皆様とともに新たな白老の創造のため、オール白老体制で町政の運営とまちづくりをしっかりと進めていく考えであります。

さて、本年2月の月例経済報告では「景気は、持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が残る中で、一部に弱さがみられる。」とされ、「感染拡大による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。」とされております。

国においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を含め最悪の事態を想定した上で各種の対応に万全を期するとともに経済財政運営に当たっては、ウィズコロナの下で、社会経済活動の再開・継続を図りつつ、安全・安心を確保していくとともに、「経済対策」を迅速かつ着実に実施するとされており、本町においても国と基調を合わせた取組を進めることが求められるところでもあります。

このような状況を踏まえ、4年度の町政執行の基本的な考え方につきましては、これまで同様、「第6次白老町総合計画」の基本目標に基づき、町民の皆様の将来にわたる安全・安心な暮らしを確保しながら、まちの持続的な発展に向けて、全力を尽くしてまいります。

## □ 町政に臨む基本姿勢

次に、町政に臨む基本姿勢についてであります。

4年度におきましては、「**安心・充実・未来への投資**」をテーマとして次の三つを重点に、まちづくりを進めてまいります。

一つ目は「**コロナに負けない安心して暮らせるまちづくり**」であります。

今なお、収束の見えない新型コロナウイルス感染症につきまして、4年度においても対策にしっかりと取り組み、町民の皆様の生命・財産を守り、安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症への対応については、現在、ワクチンの3回目接種を進めており、昨年12月から、医療従事者等を対象に接種を開始したところであります。

1月からは、高齢者施設入所者及びその従事者を、2月からは、個別接種及び集団接種により、高齢者の接種を開始しており、18歳から64歳以下の一般対象者についても、国の方針を踏まえながら接種間隔を6か月間隔に短縮し、**早期にワクチン接種を終える目標**をもって進めてまいります。

次に、町民生活と経済活動への支援についてであります。新型コロナウイルスの感染拡大が地域経済に与えた影響は大きく、依然として厳しい状況が続いており、長期にわたりその影響があると捉えております。本町では、プレミアム商品券発行业業

や事業者経営支援事業など事業者の経営の下支えをしながら、感染対策と経済活性化の両立を図ってきたところではありますが、4年度においても、これまで実施してきた事業を検証し、国や北海道の施策を見据えながら、引き続き**町民生活の安定化と地域経済の立て直し**を図ってまいります。

今後も引き続き、正しい感染予防の啓発や発生状況などの最新の情報を発信するとともに、関係機関と連携を図りながら、感染予防対策に万全を期す考えであります。

二つ目は「**地域生活を支えるインフラが充実するまちづくり**」であります。

インフラは、人々の生活を支える基盤であり、私たちの生活に無くてはならないものであります。インフラをさらに強く、便利に、そして誰もが使えるように発展させ、町民生活環境の充実を図るため、町民の皆様からの要望の声が高いものの課題の解決に向けて、優先順位をつけながら、計画的にインフラの整備を進めてまいります。

**道路**につきましては、町民生活の安全性確保に向けた地域内生活道路の整備推進として、北吉原中通り改修事業や虎杖浜北3番線簡易舗装事業を実施するほか、地域要望に基づく町道補修事業を実施してまいります。

**橋梁長寿命化事業**につきましては、道内初となる国土交通省などで構成される「道路メンテナンス技術集団」の直轄診断結果をもとに、国の修繕代行制度を活用し、白老橋の補修工事を実施してまいります。

**公園**の整備につきましては、白老町公園施設長寿命化計画に基づき、萩の里自然公園の整備のほか、公園遊具の更新に取り組んでまいります。

**上水道**につきましては、「白老町新水道ビジョン・経営戦略」の策定に取り組み、安全で安心な水道水を安定的に供給することを基本理念として事業を推進してまいります。

三つ目は「**未来を見据えた施設の長寿命化や適正配置を計画的に推進するまちづくり**」です。

今後、人口減少社会がさらに進行すると見込まれる中、持続可能な行財政運営と質の高い行政サービスを次世代に引き継ぐためには、本町の公共施設の抜本的な見直しを図り、効率的かつ効果的な維持管理や再配置の推進は避けて通れないものと考えております

公共施設等を維持していくためには、多額の更新・修繕費用等が見込まれることから、全体の状況や未来を見据えて財政状況と経費のバランスを取りながら、改修・更新・長寿命化等を計画的に実施してまいります。

4年度は、白老町公共施設等総合管理計画に基づき、旧森野福祉館の解体工事、旧東町福祉館の解体工事实施設計のほか、**子ども発達支援センターの大規模改修事業**を実施いたします。

また、**町立病院改築事業**につきましては、3年度までに受託事業者を決定したことから、4年度中に基本設計、実施設計を行い、地域住民に親しまれる地域医療の拠点となるよう、早期改築に向けて取り組みを進めてまいります。

さらに、本町の多様なアイヌ伝統文化保存・伝承、相互交流の中心施設として、高砂地区において**多機能型生活館の整備事業**に取り組むとともに、役場庁舎につきましても、建設基本計画の策定など改築に向けて取り組みを進めてまいります。

## □ 主な施策について

次に主な施策につきまして、総合計画の基本方針に沿って申し上げます

---

はじめに、「人と自然が共生した、住みよい生活環境のまち」についてであります。

**身近な安全**につきましては、高齢運転者による交通事故が増加傾向にあることから、運転に不安を感じる高齢者が運転免許証を自主的に返納しやすい環境づくりを行うため、私の公約でもあります「高齢者運転免許自主返納サポート制度」を開始します。

**防災・減災**につきましては、様々な自然災害による被害をできるだけ少なくするため、実践的な防災訓練を実施するほか、防災意識の醸成や資機材等の整備・充実を通じて、地域防災力の強化による災害に強いまちづくりを推進してまいります。

**環境美化衛生**につきましては、身近な環境美化に努めるほか、豊かな自然環境を維持する取り組みとしてヨコスト湿原環境調査を実施します。

**循環型社会形成**につきましては、地球温暖化対策として、「カーボンニュートラル」を推進するため、町民・事業者への周知啓発に取り組むとともに、省エネルギー施策のさらなる推進や再生可能エネルギー利用の拡大など、段階的に取り組んでまいります。

**都市計画**につきましては、都市計画マスタープランの改訂とその高度版である立地適正化計画の策定を行い、都市の将来展望を示すとともに、自然災害等に対応する適切な土地利用に向けた取り組みを進めてまいります。

**公共交通**につきましては、3年度に実施したダイヤ改正の定着を図るとともに、4年度は、定期券の導入に続き、回数券の設定を行うなど、地域住民に必要とされる都市機能としてさらなる利便性向上と充実に向けてまいります。

**地域情報化**につきましては、町民の皆様との情報共有化を推進するとともにリアルタイムに情報発信できるホームページ作

---

成環境を構築するため、町公式ホームページのリニューアルを実施します。

次に「**思いやり、支え合い、みんなが元気で暮らせる健幸のまち**」についてであります。

**地域医療**につきましては、町立病院は地域における基幹的な公立医療機関として、信頼向上に努めるとともに整形外科常勤医の確保に取り組み、医療提供体制の改編を行い、地域医療の向上を図ってまいります。

**子ども・子育て**につきましては、子どもの発達に応じた適切な支援や子育て向上のための支援に取り組み、次代を担う子どもたちの健やかな成長と子育て中の親を支える相談支援体制や情報発信など、安心して子育てできる環境づくりの充実を図ってまいります。

**地域福祉・高齢者福祉**につきましては、高齢社会の進展に伴い、判断能力が十分でない方の権利擁護の取組が一層重要性を増しており、地域包括支援センターなどと連携し、引き続き、きめ細かな相談体制の確保に努めるとともに、関係機関との協議を踏まえ、成年後見センターの体制整備に取り組んでまいります。また、住み慣れた地域において生活を続けていくために障がいのある方の日常生活及び社会生活の総合的な支援の充実を図ってまいります。さらに、介護福祉分野における人材不足の解消と雇用の促進及び介護サービスの充実を図るため人材確保対策に取り組んでまいります。

次に「**豊かな心を育み、生きがいを感じる学びのまち**」についてであります。

**学びのまちづくり**につきましては、2年度において策定した白老町教育大綱に掲げた基本理念であります「ともに学びあい ころひびかせ 笑顔かがやく 教育の町 しらおい」に基づ

き、まちづくりの確かな基盤となる教育の創造と実践に取り組んでまいります。

**スポーツ**につきましては、スポーツを通じた健康増進を図るため、軽スポーツ健康増進事業を実施するなど日常的に気軽にスポーツに親しむ環境づくりを推進してまいります。

**民族文化**につきましては、新たな「白老町アイヌ施策基本方針」に基づき、アイヌ民族の尊厳の尊重や文化伝承など、総合的な白老地域のアイヌ施策の推進を図ってまいります。また、アイヌ関係団体やウポポイ等との連携、国際交流の促進により、アイヌ文化の魅力発信と普及啓発に取り組んでまいります。

次に、「**魅力と活力にあふれ、賑わいが生まれる産業のまち**」についてであります。

**産業連携・雇用**につきましては、人口減少を抑制するため、しらおい移住滞在交流促進協議会と連携して情報提供、相談体制の充実を図り、関係人口の創出に力を注いでいきます。

**港湾**につきましては、第3商港区の静穏度向上に向けた施設整備や港湾区域内の安全確保対策に努めるとともに、6月に予定されるクルーズ客船ぱしふいっくびいなすの寄港に向けて、万全の体制で受入れを行うなど、引き続きクルーズ客船の誘致活動を展開してまいります。

**商工業**につきましては、景気動向、町内事業者の現状を見極めつつ、適宜経済対策を講じ、町内企業の経営環境の安定に努めるとともに、商店街などの空き店舗対策や創業・安定化に向け継続的な支援に取り組んでまいります。

**観光**につきましては、本町の特色ある文化資源を生かした観光の魅力を発信するとともに、DMO本登録に向けた取り組みを加速させてまいります。

**農林水産業**につきましては、本町の特産である白老牛の生産体制強化や資源管理型漁業及び栽培漁業の拡充、森林環境の整

備など一次産業の基盤強化を図り、力強い地域産業の基盤を構築してまいります。

次に「共に生き共に創る、町民主役のまち」についてであります。

**地域活動**につきましては、町民まちづくり活動センターを中心に、地域支援員と各町内会等との連携を図り、がんばる地域コミュニティ応援事業補助金の活用や地域コミュニティ基本指針の策定を通して地域課題の解決に向けた支援を行い、地区コミュニティの活性化を図ってまいります。

**行財政運営**につきましては、3年度にスタートした白老町行財政改革推進計画に基づき、「行政サービスの充実」、「効率的・効果的な行政運営」、「健全な財政運営」を柱として、将来の世代に大きな負担を残さない健全な行財政運営を進めてまいります。

## □ 予算編成

次に、**予算編成**について申し上げます。

**国**は、極めて厳しい地方財政の現状及び現下の経済情勢等を踏まえ、歳出面において、地域社会のデジタル化や公共施設の脱炭素化の取組等の推進、消防・防災力の一層の強化等に対応する経費を計上するとともに、社会保障関係費の増加を適切に反映した予算計上を行う一方、それらの取り組みと基調を合わせた歳出改革を行うこととしております。また、歳入面においては、地方が安定的な財政運営を行うために必要となる一般財源総額は、3年度の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することとしております。

**地方財政計画**であります。地方税・地方譲与税は、前年度を上回り、9.8パーセントの増加となるとともに、地方交付

税は、前年比3.5パーセントの増加となります。一方で臨時財政対策債は、前年度を大きく下回る67.5パーセントの減少となりました。

この結果、一般財源総額は、ほぼ前年同額となっております。

**4年度予算編成**につきましては、町政に臨む基本姿勢で申し上げたとおり「**安心・充実・未来への投資**」をテーマとして、新型コロナウイルス感染症対策、町民の皆様からの要望の声が高いものに可能な限り対応するインフラ整備、公共施設の長寿命化等のほか3年度からスタートした白老町行財政改革推進計画に基づき、積極的に行財政改革に取り組むための「行財政改革推進枠」を設定するなど予算の重点化を図り、メリハリをつけた予算を編成いたしました。

この結果、一般会計につきましては、総額107億円、前年比3億8,000万円、3.7パーセントの増加となり、過去10年間で3番目に大きい予算規模となっております。

次に、**歳入歳出の概要**についてであります。

最初に**歳入**についてであります。

**町税**につきましては、町民税は、人口減少や高齢化のほか、3年度は新型コロナウイルス感染症の影響等を見込んでおりましたが、4年度は実績見合いとして774万8千円の増、固定資産税は、償却資産の減価償却分などを見込み、3,233万4千円の減、町税全体では前年比1,875万5千円、0.8パーセント減の23億4,967万9千円を計上しております。

**交付金関係**につきましては、地方消費税交付金が、前年比3,000万円、7.2パーセント増の4億4,900万円を計上するとともに、法人事業税交付金が、前年比800万円増の2,300万円を見込み、交付金関係全体では、6億4,440万

---

円を計上しております。

**地方交付税**につきましては、地方財政計画で前年比3.5パーセントの増となっており、普通交付税は、人口の減少や公債費の減少を見込むものの、3年度の実績等を踏まえ、前年比3億5,000万円増、11.7パーセント増の33億5,000万円を計上し、特別交付税は、2,000万円を減額し、4億1,000万円を計上しております。

**町債**につきましては、通常債は、6億110万円、内訳として、通常一般分1億3,770万円、過疎債ハード分3億9,670万円、過疎債ソフト分6,670万円とし、前年比1億8,290万円、43.7パーセントの増、臨時財政対策債は、1億9,370万円、50.5パーセント減の1億9,000万円を計上しております。町債全体では1,080万円、1.3パーセント減の7億9,110万円を計上しております。

次に、**歳出**であります。

**経常経費**につきましては、総額86億8,905万1千円で、前年比2,205万円、0.3パーセントの減となっております。主な増減の要因は、給与費888万2千円の増、繰出金6,275万1千円の減、公債費6,100万3千円の減、一般行政経費3,820万6千円の増であります。

**臨時事業費**につきましては、総額20億1,094万9千円で、前年比4億205万円、25.0パーセントの増となっております。その内訳として、継続事業は98件、17億2,595万3千円で、前年比、4億4,777万1千円、35.0パーセントの増とし、新規事業は、45件、2億8,499万6千円で、前年比、4,572万1千円、13.8パーセント

---

の減により計上しております。

次に、**特別会計、企業会計**について申し上げます。

はじめに、**特別会計5事業**につきましては、総額52億8,412万1千円で、前年比6,620万円の増になっております。

主な増加事業会計は、国民健康保険事業特別会計が6,870万円の増、介護保険事業特別会計が4,740万5千円の増、減少事業会計は、介護老人保健施設事業特別会計が802万2千円の減、特別養護老人ホーム事業会計が廃止により5,342万5千円の減になっております。

次に、**企業会計3事業**であります。その総額は36億373万2千円で、前年比2億815万7千円の増になっております。

**水道事業会計**につきましては、収益的収支の収入で209万6千円の減、支出で275万9千円の減とし、資本的収支では、収入は同額、支出で1,559万4千円の増としております。

**国民健康保険病院事業会計**につきましては、収益的収支の収入、支出ともに、666万1千円の増とし、資本的収支では、収入、支出ともに、1億1,908万6千円の増としております。

**下水道事業会計**につきましては、収益的収支の収入で2,587万3千円の増、支出で1,268万8千円の増とし、資本的収支では、収入で1,673万3千円、支出で5,688万7千円の増としております。

**一般会計からの繰入金**は、6,275万1千円の減で、主な

---

減少事業会計は、下水道事業会計、4,020万円の減、特別養護老人ホーム事業特別会計、2,295万1千円の減であります。

以上、予算編成の概要につきましてご説明申し上げましたが、詳細については、後ほど予算案の審議に添って担当より説明させていただきます。

以上の結果、**4年度の当初予算**は、

一般会計 10,700,000 千円 (107億円)

特別会計 5,284,121 千円 (52億8,412万1千円)

企業会計 3,603,732 千円 (36億373万2千円)

合計 19,587,853 千円 (195億8,785万3千円)

であります。

## □ むすびに

以上、町政に臨む私の基本姿勢と主な施策、予算の概要について申し上げます。

新型コロナウイルスの感染症が収束していない現状の中では、不安要素が多く、混沌とする社会において、閉塞感に押しつぶされそうになります。しかしながら、どんな状況であろうと、関係する方々としっかりと向き合い、お互いの信頼を高め、「人と人との繋がり」を大切にしながら「ふるさと白老」をしっかりと次の世代へと引き継いでいく、その決意をもって、4年度も全力でまちづくりに取り組んでまいります。

最後になりますが、町民の皆様、そして議員の皆様のより一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げます、4年度にあたっての町政執行方針といたします。